

新たな地域医療構想の主な検討事項

- 新たな地域医療構想については、2040年頃を見据え、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上人口の増大等に
対応できるよう、**病院のみならず、かかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携等を含め、地域の医療提供体制
全体の地域医療構想として検討予定。**

※ 現状、課題、検討事項等についても、今後の検討会等で検討

【現状】

- 各構想区域の
2025年の病床の必
要量について、**病床
機能ごとに推計し、
都道府県が地域医療
構想を策定。**
- 各医療機関から都
道府県に、**現在の病
床機能と2025年の
方向性等を報告。**
- 将来の病床の必要
量を踏まえ、地域の
関係者が**地域医療構
想調整会議（二次医
療圏が多数）**で協議。
- 都道府県は**地域医
療介護総合確保基金
等**を活用して支援。

など

【主な課題】

- 2025年の**病床の必要量**に病床の
合計・機能別とも近付いているが、
構想区域ごと・機能ごとに乖離。
- 将来の病床の必要量を踏まえ、
各構想区域で病床の機能分化・連
携が議論されているが、**外来や在
宅医療等**を含めた、**医療提供体制
全体の議論が不十分。**
- 医療・介護の複合ニーズを抱え
る85歳以上が増大する中、**在宅を
中心に入退院を繰り返し最後は看
取りを要する高齢者を支える医療
を提供**する必要。その際、**かかり
つけ医機能の確保、在宅医療の強
化、介護との連携強化等が必要。**
- 2040年までみると、都市部と過
疎地等で、**地域ごとに人口変動の
状況が異なる。**
- **生産年齢人口の減少等**がある中、
医師の働き方改革を進めながら、
地域で必要な医療提供体制を確保
する必要。

など

【主な検討事項（案）】

- **2040年頃を見据えた医療提供体制のモデル**
 - ・ 地域の類型（都市部、過疎地等）ごとの医療需要の変化に対応す
る医療提供体制のモデル（医療DX、遠隔医療等の取組の反映） 等
- **病床の機能分化・連携の更なる推進**
 - ・ 病床の将来推計：機能区分、推計方法、推計年等
 - ・ 病床必要量と基準病床数の関係
 - ・ 病床機能報告：機能区分、報告基準等
 - ・ 構想区域・調整会議：区域、構成員、進め方等
 - ・ 地域医療介護総合確保基金
 - ・ 都道府県の権限 等
- **地域における入院・外来・在宅等を含めた医療提供体制の議論**
 - ・ 入院・救急・外来・在宅・介護連携・人材確保等を含めた医療機関の役
割分担・連携のあり方
 - ・ 将来推計：外来、在宅、看取り、医療従事者等
 - ・ 医療機関からの機能報告：機能区分、報告基準等
 - ・ 構想区域・調整会議：外来・在宅・介護連携等の議論を行う区域、
構成員、進め方等
 - ・ 地域医療介護総合確保基金
 - ・ 都道府県の権限
 - ・ 介護保険事業等を担う市町村の役割 等

など

3